

学校における消費者教育の推進について

平成 29 年 11 月 15 日

長野県教育委員会教学指導課

小中学校

○長野県総合教育センターで、実践力を向上させるための情報の発信

- ・消費者教育に関する講座「かしこい消費者・エコ生活」（8月25日）
- ・講義「家庭科における消費・環境に関わる指導と評価」
- ・講義「消費者教育の基礎」（講師 長野県金融広報委員会 消費生活アドバイザー）

○長野県金融教育公開授業（長野県金融広報委員会「金融教育研究校」）

- ・松本市立開智小学校（予定）

○上伊那地区 教育課程研究協議会（小学校家庭科、中学校家庭分野）

- ・くらし安全・消費生活課による「消費者教育推進のための講師派遣事業」の活用
- ・消費者教育に関する研修（講師 長野県金融広報委員会 消費生活アドバイザー）

高等学校

○長野県金融教育公開授業（長野県金融広報委員会「金融教育研究校」）

- ・豊科高等学校（11月9日）
- ・穂高商業高等学校（予定）

○「主体的・対話的で深い学び」に基づいた実践事例

（平成 29 年度長野県高等学校教育課程研究協議会（家庭科部会）より）

- ・「悪質商法」について（家庭基礎）

グループごとにロールプレイを行う。悪質商法の手口、被害者とならないために注意すべき点についてグループで話し合ってみて、最後に発表する。

- ・消費生活についての分野（家庭総合）

ひとり暮らしの生活費についてシミュレーションする。金融広報中央委員会の教材を使用して、高校卒業後の生活費がどのくらいかかるのかを考えさせる。高卒で就職した場合の平均収入や、そのうち支出はどのくらいかを具体的に考えさせる。社会人として支払う非消費支出についても学び、さらに自分の自由になるお金を生み出すためのやりくりを考えさせる。また正規雇用と非正規雇用についても違いについて学習する。最後に今回学んだことや今後の経済生活の展望について発表させる。

- ・「人生すごろく」を作ろう（家庭基礎）

今後起こりうるライフイベントを考え、グループ内で意見交換しながら多様なライフコースがあることに気づき、人生設計を主体的に展望する。①各自、高校卒業から高齢期までに起こるであろうライフイベントを20個以上書き出す。②グループで目標となるゴールを設定し、様々なライフコースを考えながらライフイベントをつなげていく。③完成したすごろくを体験する。3班分くらい体験後、それぞれの感想をまとめて発表する。